

新型コロナウイルス感染症対応に係る専修学校における遠隔授業の取組事例

北海道情報専門学校／北海道

【授業開始】 4月1日

- ・当初は分散登校・コミュニケーションツールでの指示による課題演習で対処
- ・4月13日から順次遠隔授業に移行

【期間】 4月13日～5月29日（状況により延期有）
1日平均3時限の授業を実施

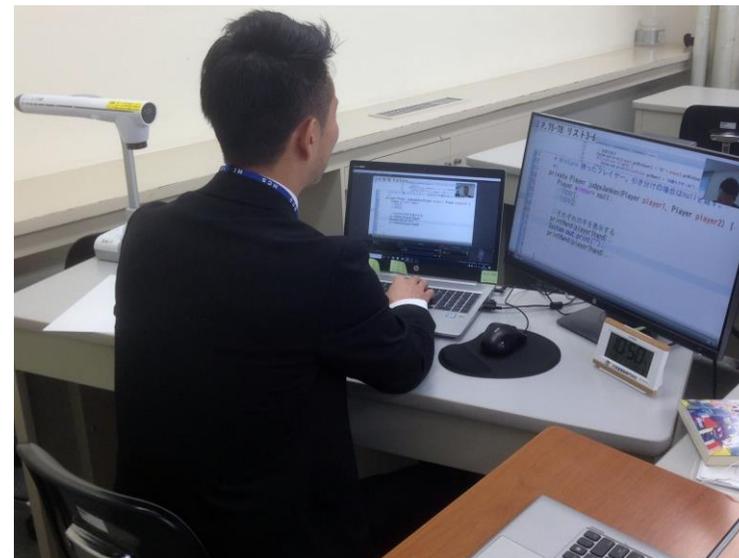
【対象】 全6学科：880名

【方法】 PC（ノート型）、モニター設置、
動画配信とチャット・通話（コミュニケーションツール）を併用した同時双方向型授業

- ・スマートフォン対応（動画・チャット・通話）
- ・プログラミング実習環境を持たない学生に対するノート型PCの貸与

【内容】

- ・4月初旬より準備を開始
（学生のPC保持・インターネット接続環境調査）
- ・既存の遠隔教育システム（グループ校一斉受講可能なPINE-NET/II）の利用（学生の自宅で受講を可能にするため、動画配信サービスを活用）



【内容】 続き

- ・出欠確認、ホームルームを実施（動画配信とコミュニケーションツールを併用）
- ・授業はPC画面や書画カメラで撮影しながら説明
- ・グループ演習を伴わない講義・個別のPC実習科目を先行して実施
- ・コミュニケーションツールを利用して演習課題を配布、提出